

新基地建設反対名護共同センターニュース

安倍内閣を倒し、野党連立政権の実現を！ —東日本大震災と原発事故から9年—

新基地も 原発も 暮らし破壊も 根は一つ

3月11日のキャンプ・シュワブゲート前には約60人が座り込みました。最初に東日本大震災と原発事故の犠牲者を悼み、黙とうを捧げました。その後、「立ち上げられ」と座り込み」を全員で合唱。9時すぎ機動隊が前に並び抗議の県民と対峙する。20分ほどで座り込みは排除されましたが、参加者は違法工事はやめろ！、美ら海を埋めるな！、子や孫の未来を奪うな！などと元気にシュプレヒコールを上げ、たたかいの歌を歌い続けました。

都障退教が4年連続で沖縄ツアー

都障退教の16人も座り込みました。ある元教員は、4年連続で沖縄ツアーに参加しました。今回は集団自決のあった渡嘉敷島や高江も訪問し、沖縄の歴史と貴重な自然も学びました。辺野古新基地を中止させるまで、沖縄県民との連帯を広げ安倍内閣を止めさせたい」と話していました。



↑東日本大震災の犠牲者に黙とうを捧げる県民機動隊と対峙する県民→



ゲート前 12日も約100人が結集
ゲート前では12日、沖縄市、うるま市、那覇市の島ぐるみなどのバスで約100人が結集。ヘリ基地反対協・仲本興真事務局長らの司会で座り込み、抗議の声を上げました。

第3木曜日(19日)の県民大行動は中止です

ゲート前で安次富浩共同団表は12日、「オール沖縄会議は今月第3木曜日(19日)の県民大行動をコロナウイルス対策のため中止することとしました」と報告しました。

大浦湾側でウミガメ産卵場整備

—辺野古から追いだされた亀が戻るか?—

大浦湾側の弾薬庫下の砂浜で7日から9日、「ウミガメ産卵場整備中」の表示が掲げられ、防衛局が作業する様子が確認されました。

米ジュゴン訴訟原告の東恩納琢磨さん(名護市議=写真)は「あんなことでもウミガメは戻らないと思う。生まれた辺野古の浜を追いつぶされたウミガメがどうやって新たな産卵場を見つけるといえるのでしょうか。税金の無駄遣いです」と話しています。



連帯広げ「美ら海守りたい」

神奈川・女性弁護士さんなどが抗議船で視察

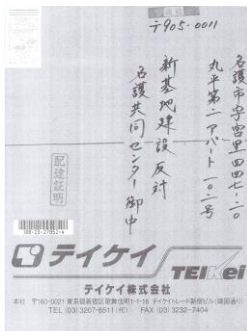
神奈川・横浜合同事務所の高橋由美弁護士と親族の女性3人は8日、辺野古漁港から平和丸に乗船し新基地建設現場を視察、平島付近の浜サンゴを箱メガネで確認しました。高橋弁護士は「この美ら海をつぶすことは許せません。神奈川でも横須賀基地などを抱え米兵犯罪が絶えません。5月の自由法曹団の沖縄集会にも参加します」と話していました。



↑建設現場やハマサンゴを確認する高橋さんら

テイケイ(株)から共同センターに資料送付

当共同センターニュース277号で「マスクつけずに濃厚接触する警備員」とゲート前のテイケイ(帝国警備)の警備員全員がマスク未着用であることをヘリ基地反対協・安次富代表などが「非常識」と批判したことを報道しました。これについてテイケイ本社(東京・新宿区)から12日、当センターに配達証明便で影山嘉昭社長の名刺と共にマスク未着用の「理由」とする資料が送られてきました。



中には「ご参考までに」と付箋付きで、「WHO」(世界保健機関)がせきなどの症状のない人に対し、「いかなるマスクの利用を推奨しない」とする手引きをまとめた、と報道した読売や日経新聞の記事のコピーなどが数枚入っていました。これについて名護共同センターの具志堅徹共同代表は「マスク着用の成否はともかく、権力と直結する警備会社が私たちのニュースの内容にまで注目し、神経をとがらせて対応するのは、県民のたたかいに権力がそれだけ追い詰められていることを示している」と話しています。